## 応募資格

自分を若手と思う演出者

＊最終審査期間参加可能であること

## 応募方法

以下のものを一式、右記の応募フォームにてご送付願います。

1. 演出家の演出プロフィール
※これまでの演劇歴など。

2. 今までに演出した１作品公演の映像動画データ（mp4形式のもの）をギガファイル便にてご提出ください。

※応募は１作品のみとなります。
※映像内容が途中までの録画や、音声が入っていない（聞こえない）等の場合、審査対象外となります。ご注意ください。
※戯曲などの上演著作権は各応募者に於いて申請取得してください。

3 提出映像作品の上演台本、その他上演資料（映像資料のチラシやパンフレット）

4 氏名（読み仮名・演出家名・芸名があればそちらも記載）
郵便番号、住所、電話番号、e-mailアドレス
※連絡先に関しては確実に連絡がとれるものをご記載ください。

5 第2次審査へ通過時の対象公演内容（期間・場所など）

**5/1～6/30〆切**

## 1次審査

### 映像審査

＜5月1日～6月30日＞

公演映像資料、書類による審査。

◇演出家の演出プロフィール・連絡先
◇審査対象映像作品＜1作品のみ＞
◇提出映像作品の上演台本

応募フォーム

□公演映像全編（mp4形式）
□台本（PDF）
□公演資料（チラシやパンフレット）
※作成していない場合は不要
※戯曲などの上演著作権は各応募者に於いて申請所得してください。

**8月末に審査通過者に電話で通知予定。**

## 2次審査

### 実演審査

＜9月1日～12月1日＞

第1次審査で選ばれた**10名**の演出家による上記期間内に行われる公演（または稽古）を、審査員2名以上が観に行き審査。

※公演がなく稽古審査となる場合は、公演に準ずる形での通し稽古などを審査対象と致します。

※配信のみの公演は審査対象外です。

**12月中旬、審査結果を発表。**
**4名を優秀賞演出家として選出、12月末に表彰。**

※活動地域が東京から100km以上の場合遠方支援の支給有り。

**12月中旬に審査結果を発表。12月末に表彰式。**

## 最終審査

### 公開審査

**2025年2月25日（火）～3月 2日（日）**

最終選出された**4名**が自らキャスト、スタッフを集め下北沢「劇」小劇場にて、**一般公開で競演**します。

**上演の流れ**

**２時間の仕込み**
＜受付開場時間込み**全２時間**＞
↓
**１時間以内の本番**
↓
**１時間のバラシ・撤収**

※平日１回と
土日のどちらかで１回の
**２回上演**

この公演を審査員が
**公開審査**し、最終選考とします。

**公開審査による最終選考会**

最優秀演出家賞
**最優秀賞受賞者には**
**賞金50万円**
**&**
**最優秀演出家による**
**記念公演**
＜同劇場にて２０２６年３月上旬予定＞
劇場費補助（公演期間は指定になります）
**協会費の一部免除**


一般社団法人
**日本演出者協会**
〒160-0023
新宿区西新宿6－12－30芸能花伝舎3F
TEL 03－5909－3074
FAX 03－5909－3075
ホームページ https://jda.jp/

**■若手演出家コンクール お問合せ**

MRco.
TEL:090-2916-1739（担当：三村）
E-mail:mrco@m8.dion.ne.jp


### 2023年度受賞者

最優秀賞　**八代将弥** a.k.a.SABO【room16/16号室】（愛知県）

優 秀 賞　**大信 ペリカン**　【シア・トリエ】（福島県）
**鈴木あいれ**　【劇団コメディアス】（東京都）
**中山美里**　【演劇企画もじゃもじゃ】（東京都）

**最優秀賞受賞記念公演**
**八代将弥a.k.a.SABO**
**2025 年 3 月上演予定**

### 2023年度審査員

一宮周平　（パンチェッタ）
鵜山仁　（文学座）
加藤ちか　（舞台美術家）
鐘下辰男　（演劇企画集団THE・ガジラ）
鹿目由紀　（劇団あおきりみかん）
亀尾佳宏
木村繁　（オブジェクトパフォーマンスシアター）
小林七緒　（流山児★事務所）
佐野バビ市　（東京ミルクホール）
澤野正樹
シライケイタ　（日本演出者協会理事長・劇団温泉ドラゴン）
スズキ拓朗　（CHAiroiPLIN）
髙橋純
弦巻啓太　（弦巻楽団）
外波山文明　（椿組）
西沢栄治　（JAM SESSION）
はせひろいち（劇団ジャブジャブサーキット）
日澤雄介　（劇団チョコレートケーキ）
平塚直隆　（オイスターズ）
広田淳一　（アマヤドリ）
三上陽永　（ぽこぽこクラブ）
山口宏子　（朝日新聞記者）
山田恵理香　（空間再生事業 劇団GIGA）
流山児祥　（流山児★事務所）
和田喜夫　（演劇企画集団楽天団）

### 若手演出者コンクール２０２４

コロナがようやく下火になったかと思ったらまたドッと、いろんな災いが押し寄せてきた。
人間とはつくづく業の深い生き物だと思います。しかしこうなってしまった以上、そこをしっかり芝居のネタにしなければ、芝居が芝居の役割を果たしたことにならない。

われわれの日常を取り巻く、より広く深い世界の在り方とどう交信できるのか。
そのための芝居、そのための言葉、そのための身体が、今求められているのだと思います。
われわれのアートに何ができるのか、とりわけ演出なんかに、一体何ができるのか？

新しい演出言語の出現に、熱い期待と羨望を抱いています。

若手演出家コンクール最終審査員　鵜山仁（文学座）